

*Aさん（3歳児）

Aさんは保育園に通っている3歳児です。、ミニカーを並べて遊ぶことが好きです。また、ダンスの動画を見ると、真似をして楽しそうにダンスをすることがよくあります。ゴミを渡し、「ゴミ箱に捨ててきて」と伝え、捨てることができるなど、簡単な指示を理解して行動することができます。

一方で、まだおむつが外れておらず、食事もお手づかみで食べ、好き嫌いも非常に多い状態です。家庭や保育園で意味のあることばは話さず、お友達への興味が薄いようです。何かをしてほしいときには、「うー」と言いながら、もどかしそうにし、思い通りにならない際に15分以上泣き続けることがあります。

保護者の方は、おしゃべりができるようになり、コミュニケーションが取りやすくなってほしいと思っています。



●保護者の意向

おしゃべりができるようになり、コミュニケーションが取りやすくなってほしい。

●長期目標

身近な大人とのやり取りを通して、コミュニケーションが取り合える場面が増える。

●短期目標

遊びの中で他者と『たのしい』気持ちを共有し、コミュニケーションの基礎を育む。

1日のスケジュール(活動や移動方法等は一例です)	
9:30	療育機関登園(療育機関送迎) 朝の支度・始まりの会
10:00	集団活動 ・体操や運動活動 ・音楽や制作活動 ・集団遊び
11:30	トイレ・給食・歯磨き
12:10	自由遊び/個別(月数回)
13:00	帰りの支度・帰りの会
13:30	降園(※かつしかファミリーサポートセンターを利用して療育機関から保育園へ移動)
14:00	保育園

挨拶や身支度、荷物の出し入れなど、日常生活のスキルを身に着けます。

集団行動や気持ちのコントロール、友達や先生とのやり取りを学びます。また、ゲームの中で様々なことばに触れ、ことばの発達を促します。

個別指導では、1人ひとりにあった課題に取り組みます。また、保護者の方へ家庭での関わり方などの相談・助言をします。

トイレトレーニング・偏食・食具の使い方を学びます。

自由遊びでは自分で遊びを見つけてことや1つの遊びを続ける集中力を促します。

・保育園の中には、午後から保育の受け入れができないところもあります。

※かつしかファミリーサポートセンター（ファミサポ）は、一時的に子どもを預かって良い方を紹介する事業です。ファミサポ（有料）の利用方法等に関しては、葛飾区のホームページでご確認ください。



1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	保護者送迎	保護者送迎					
9:30	療育機関	療育機関				自宅	自宅
13:30	ファミサポ	ファミサポ	保育園	保育園	保育園		
14:00	保育園	保育園					
18:15							

*Bさん（4歳児）

Bさんは在宅で過ごす4歳児です。在胎36週時に胎児機能不全のため、胎児心拍低下となり緊急帝王切開で産まれました。出生後、呼吸困難の状態が続き、気管切開手術を受けました。退院の際には保健センターの保健師さんと相談しながら、訪問看護師や吸引器など必要なサービスと医療機器の導入を行っています。現在は週1回、訪問看護師さんが体調・気管孔の管理を行い、8週に1回、小児科を定期受診しています。Bさんは伝い歩きはできますが歩行が不安定です。気管切開部にスピーチカニューレを装着していますが意味のあることばが見られません。発達の遅れを主治医に相談したところ、療育施設を紹介されました。Bさんは医療的ケアが必要なため、保育園や幼稚園に通っていません。1日に6回程度2mlの生理食塩水の吸入と適宜吸引を行っています。保護者の方は、発達状況を相談しながら、本人が言葉をはしゃげるようになってほしいと思っています。



●保護者の意向

発達の遅れについて知りたい。言葉をはしゃげてほしい。

●長期目標

友達と遊んだり、やりとりしたりする楽しさを共有する。

●短期目標

新しい環境に慣れ、安心して通所する。

バスには看護師が添乗し、安全に通所出来ます。

1日のスケジュール(活動や移動方法等は一例です)

9:00	療育機関登園(療育機関送迎) 朝の支度・始まりの会
10:00	集団活動 ・音楽や制作活動 ・集団遊び
11:30	トイレ・給食・歯磨き
12:10	自由遊び/個別機能訓練
13:00	帰り支度・帰りの会
13:30	降園(療育機関送迎)
14:00	帰宅

1人1人のバイタルチェックを丁寧にしています。また、始まりの会では、1日の流れの発表や、お名前呼びを行います。

提供する昼食の食形態については保護者の方と一緒に考えていきます。

お子さんが安心して過ごせるようにお子さんに応じた医療的ケアを提供しています。

機能訓練専門職(※)により、お子さんの課題に応じた機能訓練を行います。

機能訓練専門職(※)とは...(どの専門職の支援を受けられるかは各療育機関にお問い合わせください。)

理学療法士(PT) : 身体機能に障害があるお子さんを対象に、機能訓練(座る・立つなど)を行う専門職

作業療法士(OT) : 運動や手先の作業等を通して、生活動作(食事・運動など)の向上を目指す専門職

言語聴覚士(ST) : ことばによるコミュニケーション(話す・聞く)や食事(嚥下)を支援する専門職



1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00							
10:00	療育機関	療育機関	療育機関		訪問看護		
12:00				自宅		自宅	自宅
14:00							

*Cさん（5歳児）

Cさんは、幼稚園に通っている5歳児です。幼稚園では、制作などの興味のある活動には参加でき、好きなことにはよく集中することができます。しかし、音楽活動などの興味のない活動には参加することが難しいです。また、虫など、好きなものについて先生やお友達に見せに行くなど社交的な一面がある一方で、目に入るとすぐにそちらに移動してしまい、集団活動からそれてしまう様子があります。

家庭においては、待つことが苦手でじっとしていられない様子や、兄弟でルールのある遊びを行う際には、勝ち負けにこだわり、負けてしまうと気持ちの切り替えが難しい様子も見られています。

保護者の方は、就学してからのことを心配しており、授業に集中して参加できるようになってほしいと思っています。



●保護者の意向

小学校入学に向けて、授業に集中して参加できる力をつけてほしい。

●長期目標

興味のある活動や遊びが増える。

●短期目標

活動や遊びにじっくり取り組み、最後までやりきった満足感を味わう。

自由遊びではかたやブロックなど好きな遊びを行います。活動の中で友達とのやり取りを学ぶ機会や、本人の良さを褒めたり認めたりする機会を作ります。

運動遊びを導入として行い、体幹の強化や様々な感覚（平衡感覚など）を取り入れることで、落ち着いて活動に参加できるからだ作りを行います。

1日のスケジュール(活動や移動方法等は一例です)

9:00	幼稚園登園
13:30	幼稚園降園
14:30	療育機関登園(保護者送迎) 自由遊び・始まりの会
15:00	集団活動 ・体操や運動活動 ・SST(※)
16:30	降園(保護者送迎)
17:00	帰宅

視覚化したスケジュール表を使い、その日の活動の見通しを伝えます。集団活動にのれるように、本人の気持ちを受け止めながら切り替えを促します。

小グループでルールのある遊び（椅子取りゲーム、鬼ごっこ）などを発達段階に応じてわかりやすく伝え、楽しみながら社会性をはぐくみます。

活動の目的や本人の様子を保護者の方にお伝えしま

※SST (Social Skill Training ソーシャルスキルトレーニング) : 社会の中で暮らしていくためのスキル。人とのコミュニケーションを中心に、日常生活を営む上での生活スキルも扱うことがあります。

1週間のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00							
13:00	幼稚園	幼稚園	幼稚園	幼稚園	幼稚園	習い事 (プール)	自宅
14:00			保護者送迎				
16:30			療育機関				

